

オリオンクラブ企画ツアー

名古屋テレスコ オリオン館代表 吉田 芳雄

独自のフィリピン観測ツアーを計画された名古屋のオリオン館から、ツアー企画経過の報告をいただきましたので、御紹介致します。（編集部）

（前略）当クラブツアーは、昨年9月に、東京に本社を持つ富士国際ツーリスト㈱の名古屋系列会社、富士ツーリスト㈱に対しツアー手配を依頼し、富士ツーリストはフィリピン旅行の大手であるラジャーインターナショナルへ、航空機・宿舎等を確保すべく手配を行ってまいりました。当初は飛行機の座席・ホテル等もほぼ問題なく予約が入り、3月16日～19日の行動日程で挙行できる見通しでしたが、今年1月10日になって富士ツーリスト側より「現地旅行社から手配は困難との連絡が入り、実施の見通しが暗くなりました」との報告がなされました。

当クラブとしては、既に12月末発売の天文ガイドに広く告知され、又2月5日発売の広告にも入稿を済ませておりましたので、あわててフィリピン大使館観光局横山様と相談の上、交通公社日本橋が森友和様と立案・企画されていた日食ツアーに割り込む形で、20名分をブロックいたしました。

その後の経過は森様等よりお聞き及びのことと存じますが、日程の延長、交通公社の主催旅行から手配旅行への変更、治安上の問題による観測地の設定等々、種々なトラブルもございましたが、最終的には当クラブとしては17名がJTB＝森グループに合流し、同一行動をとって無事にツアーを終了させることができました。残念ながら日食自体は天候に恵まれず、100%の成功を得られませんでした。これはいたしかたのないことです。

当クラブは日食経験者が少なく、森様のグループに参加させていただいたことは有意義であったと考えております。報告集は森様にお世話をかけることになり申し訳なく思いますが、特に独自で作製する予定はありません。単に写真・ビデオ・名簿等を交換するにとどめ、全体の報告集に各自参加することにいたしました。

当初企画通り独自の日程・行動をとっていけば、現地でどのようなトラブルが発生したか知れず、今から考えれば自主ツアーが流れ、JTBと合流したことがかえって幸いであったと考えております。幸運にも現地で特に大きなトラブルはなかったものの、何が起きても不思議ではない状態で、自主ツアーを組もうとした事が、いかに現地状況からみて無謀であったか、冷汗の出る思いです。

森様はじめ遠山先生等、多くの方とお知合いになれ、その意味でも貴重な経験をいたしました。観測自体は不十分であったものの、大変よい勉強をさせていただいたものと感謝いたしております。以上、簡単ながらご報告にかえさせていただきます。（後略）